

「こころは 健保組合です！」

株式会社内房運送の巻

(千葉県稲毛区)



「夏の代名詞」とも言える高校野球。今年は100周年の記念大会が開催されました。夢の甲子園を目指し、毎日夜遅くまで練習に励んできた高校球児の全力プレーや仲間同士の絆に、読者の皆さまも心を揺さぶられたことと思います。同時に今年は、戦後70年の節目の年となり、くしくも開会式は広島に原爆が投下された8月6日に行われました。子どもたちが戦争のない平和な社会で野球が続けられるよう、改めて平和の大切さに



▲杉本一樹社長

ついて考えさせられた夏だったのではないでしょうか。

☆ ☆ ☆

今年の夏は全国各地で猛暑と熱帯夜が続きましたが、8月後半は一転、秋雨前線の影響で曇りや雨の日が多く、気温も一気に下がり、体調を崩された方も多かったと思います。取材日の9月2日も朝から雨模様となりましたが、私たちは、第68回目の事業所訪問先として、千葉県稲毛区小深町に所在する株式会社内房運送（杉本一樹社長）にお邪魔しました。

目的地は、当事務所から県道66号を四街道方面に向かい、陸上自衛隊下志津駐屯地からほど近いところにありました。周辺には商業施設、大小さまざまな企業のオフィスや工場が営業拠点として集積しています。

「こんにちは健保組合です！」と

事務所を訪ねると、今回の取材にご協力いただきました杉本社長に迎えられ応接室に案内されて貴重な時間をちょうだいし、取材を始めることになりました。

取引先から愛される製品輸送の精神を継承

初めに、同社の歴史と主な業務内容についてお伺いしました。

内房運送は、先代の社長が知人から事業を継承し、昭和59年に同所在地で産声を上げました。社名である「内房」は、県外でも千葉県房総半島のイメージとして好評とのこと。業務内容は、設立当初から平ボデイトラックによる建設・工事現場への建築物、資材、部材、鉄骨、機械、機材など、建設関連設備を中心とした地場輸送から、北は北海道、南は九州地域までの長距離輸送です。パブル崩壊後は、受注量の減少や他社との価格競争など、経営に苦慮された時期もあったそうですが、先代が地道な営業活動を続け、現在の基盤を築き上げられました。杉本社長は平成25年に2代目として社長に就任しました。就任当時は、経営に関するノウハウの取得にたいへんご苦労されたようですが、約30



▲内房商事の自動車整備工場

年にわたり守り続けてこられた「取引先から愛される製品輸送」の精神を受け継がれています。

同社は、グループ会社として、(有)内房商事を展開し、本社所在地敷地内に自動車整備工場を構えられ、(株)内房運送の車両点検をはじめ、一般のユーザーの日常点検から車検整備に至る車両のトータルサポートと中古車オークションの手続きを代行されています。私たちの業界は常に危険と隣り合わせの業務を行い、一度、事故を起こすと、人的・金銭的被害だけでなく、取引先や地域社会から信頼を失うことにつながりかねません。内房商事は、徹底したメンテナンスで公道を仕事場とする内房運送の安心・安全なトラック輸送を支えていらっ

注意しているようです。

趣味は音楽とのこと。ご自宅で好きなアーティストの楽譜を参考に、パソコンで音楽を再現することや楽器を奏でられ、家族団らんのひとつときをお過ごしのような感じです。ご家族とのふれあいを語られる杉本社長の優しい笑顔がとても印象的で、家庭の温かさが伝わってきました。上手なオン・オフの切り替へと、プライベートの充実を図ることで、会社を営む重圧やストレスを解消しているものとお見受けしました。

杉本社長には引き続き健康にご留意され、ご家族との絆をさらに深められますことを祈念いたします。

健保組合への意見要望をお聞きすると、「特にありません」とおっしゃっていたのですが、その言葉に甘んじることなく、私たちは加入員皆さま方の「健康サポーター」として組合運営に取り組んでいきます。

和やかな取材もあっという間に過ぎ去り、予定した時間を迎え私たちは内房運送をあとにしました。ご多用のなか取材にご協力をいただきました杉本社長をはじめ、従業員の皆さま、ありがとうございました。

しゃいます。国民の価値観や消費者ニーズは、経済環境や人口構造の変化に伴い多様化していますが、同社グループは技術や情報を共有し、双方の強みを活かし、ますます企業価値を高めていかれることでしょう。

相互の企業発展のため 荷主と運送会社は対等な立場

次に、トラック運送業界の現状と将来へのビジョン、人材育成に関する話題に移行しました。

アベノミクス効果で、一部の企業の業績が改善しておりますが、



▲出発を待つトラック

我々トラック運送業界を取り巻く環境は高コスト体質が改善されず、少子高齢化のなか、ドライバー人材不足、若年ドライバーの減少など、諸問題を抱えています。杉本社長は、「一方が優位的地位ということではなく、荷主と運送会社が相互の企業発展のため対等な関係での協力が重要だと考えます」と断言されました。その上で、「燃料価格や高速道路料金など、負担増に見合った適正な運賃価格による取引を行うことで、賃上げや働きやすい就労環境の整備により、ドライバーの待遇が改善され、やりがいのある魅力的な仕事として多くの方に興味をもってもらえるのではないのでしょうか」と付け加えられました。

将来へのビジョンについては、自動運転機能トラックによるトラック産業への影響に関心をおもちのようです。具体的には、自動運転による効果は交通事故の削減、燃費向上による環境負荷の軽減、運転負荷の軽減による運転快適性の向上などが期待されます。一方で、従事する者には運転技能以外のスキルが求められることや女性ドライバーの増加など、業界全体の構造に変化が生まれることも挙げられ

趣味の音楽で

家族との団らんを満喫

最後に、社長ご自身の健康法と趣味についてお聞きしました。

健康法は、十分な睡眠と、1日3食栄養バランスの良い食事を心がけて、体調管理にはふだんから